

新入園児の交通事故防止

2018-02-23

平成30年2月21日（水）、浜松市役所で行われた「浜松市立保育園園長会」において、交通安全指導員が新年度に向けての交通安全指導の推進について依頼しました。

市内保育園の園長先生に対し、昨年は市内の未就学児の交通事故が増加したことを知らせ、保育園と協力した交通安全教育の強化をお願いしました。また、小学校入学前の園児の交通安全指導の大切さを訴え、交通安全指導員が作成した保護者向けのチラシを配布し、家庭での指導の参考としてもらうようお願いし子どもの交通事故防止を図りました。



交通安全教室に対するお礼の手紙をいただきました

2018-02-23

平成30年2月2日（金）西区入野町のわかさ保育園において、年長園児に対し就学前の交通安全教室を実施したところ、園長先生からお礼の手紙が届きました。

交通安全教室を振り返り、「小学校入学に向けて、『自分の命は自分で守る』ことの大切さを教えてもらう貴重な体験でした。」と感謝の言葉をいただきました。また、「皆様の活動があって、子ども達も事故や怪我がなく大きくなっていくのだと思います。」と労いの言葉が添えられ、今後の活動の励みとなりました。



園児から感謝の色紙

2018-02-16

平成30年2月5日（月）中区広沢1丁目の普濟寺幼稚園において、園児を対象とした交通安全教室を行ったところ、年長さんからお礼の言葉が書かれた色紙をいただきました。卒園を控えた園児にとって、保護者役員の協力で毎年3回行われてきた交通安全教室は、今回が在園最後となり、安全に小学校に通えるよう、小学校入学前の交通安全に対する心構えを学んでもらいました。



交通安全教室の様子が地域の便りに掲載

2018-02-16

この度、交通安全指導員の活動が「曳馬中学区青少年健全育成会だより」「ひくまの子」に掲載され、地域の約17,000世帯に全戸配布されました。同校区の浜松市立上島小学校において実施された交通安全教室の様子が、感謝の言葉とともに表紙に載り住民の交通安全意識の高揚が図られました。



交通死亡事故現場診断

2018-02-16

平成30年1月31日（水）中区上島において、交通死亡事故現場診断が行われました。1月13日発生した高齢者歩行者の交通死亡事故を受け、浜松中央警察署や行政、交通安全関係機関及び地元自治会から約20人が参加し、現場

の状況を見学し再発防止対策を検討しました。

横断歩道横断中の高齢者が亡くなるという事故で、「路面標示の明確化、運転者・歩行者双方への確実な安全確認を呼び掛けることで再発防止を図る。」という意見が出されました。

当支部としては、交通事故防止を図るための広報・啓発活動や安全教育を強化して、道路利用者の安全意識の向上を図っていきます。



交通死亡事故現場診断

2018-02-16

平成30年1月31日（水）中区小豆餅において、交通死亡事故現場診断が行われました。昨年末、発生した高齢者の交通死亡事故を受け、浜松中央警察署や行政、交通安全関係機関から約30人が参加し、現場の状況を見学し再発防止対策を検討しました。

夜間横断中の高齢者が亡くなるという事故で、「様々な施策は考えられるが、運転手はハイビームの活用、歩行者は自発光式反射材の活用を心掛けることで再発防止できる。」という意見が出されました。

当支部としては、交通事故防止を図るため広報・啓発活動を強化して、自発光式反射材の普及を呼び掛け道路利用者の交通安全意識の向上を図っていきます。



浜松市交通事故ワースト1脱出作戦 年初出発式

2018-02-16

平成30年1月26日（金）中区元城町の浜松城公園駐車場において、「浜松市交通事故ワースト1脱出作戦 年初出発式」が行われ、当協会からも支部長及び分会役員等が参加しました。県警のパトカー・白バイや交通安全関係団体役員約150人が整列しセレモニーが行われ、ひくま幼稚園年長児が「道路に飛び出しません。」「信号の約束を守ります。」と声を揃えて約束しました。

その後、青葉幼稚園児の「出発！」の号令で、園児や交通安全関係団体役員等が見送る中、白バイ・パトカーが市内のパトロールに向かいました。



子どもの安全は家庭から

2018-02-01

平成30年1月19日（金）中区寺島町の浜松市立寺島保育園において、年長児親子に対する就学前の交通安全教室を行いました。園児は、交通安全指導員から正しい歩き方や横断方法を教わった後、周辺の道路を保護者が見守る中、実際に歩き安全な歩行や横断を体得しました。

また、保護者には昨年末から県内で相次いで発生した小学生の交通死亡事故について説明し、かけがえのない子どもの命を守るために、家庭における繰り返しの交通安全教育の重要性を訴え交通安全意識の高揚を図りました。



交通死亡事故発生！緊急交通安全広報

2018-02-01

平成 30 年 1 月 23 日（火）中区上島のドラッグストア「クリエイト」において、浜松中央警察署と浜松中央地区安全運転管理協会及び中区まちづくり推進課とともに交通安全啓発活動を実施しました。

今月、同地区において交通死亡事故が発生したため交通事故抑止対策として行ったもので、注意喚起ののぼり旗を掲出した店頭において、カエルの着ぐるみを登場させ来客に興味を持たせ、地元分会役員・自治会役員ら約 10 人がチラシと自発光式反射材を配布し、「無事、自宅へカエル」ように呼び掛け交通安全意識の高揚を図りました。



ポスター掲示による交通事故防止広報

2018-02-01

平成 30 年 1 月 13 日、中区において発生した交通死亡事故を受けて、交通安全指導員がポスターを作成し浜松中央警察署の玄関と浜松市役所・中区役所庁舎内及び現場付近のドラッグストア店舗に掲示し交通事故防止を呼び掛けました。

来庁者や買い物客に交通死亡事故の発生を知らせることで、交通事故防止へ対する意識を高めてもらえる機会となりました。



平成 29 年度 高校生交通事故防止チャレンジ 100 表彰式

2018-02-01

平成 30 年 1 月 25 日（木）、浜松中央警察署において、高校生の自転車事故防止を目的に 100 日間、交通事故防止対策への取り組みをクラス単位で競うものです。「平成 29 年度高校生交通事故防止チャレンジ 100」における、活動優秀クラスに対して、浜松中央警察署長・交通安全協会浜松中央地区支部長が交通安全の取り組みを称え表彰しました。この施策は、チャレンジに協賛した企業が生徒に「引き続き交通安全活動に取り組み、交通事故防止に努めてほしい。」と呼び掛け、生徒は「活動を通し高められた交通安全意識を、今後も持続させて事故防止に繋げたい。」と意欲を語っていました。



自転車安全利用促進早朝街頭広報

2018-01-22

平成 30 年 1 月 11 日（木）西区大平台の静岡県立大平台高等学校通学路において、交通安全指導員が高校生 6 人、教諭 6 人とともに自転車指導を実施しました。高校生が交通安全のたすきを掛け、登校中の自転車通学者に自転車の安全な利用を呼び掛け、交通安全指導員が生徒の安全な通行を誘導・指導しました。

新年、新学期が始まって間もなく実施したことから、生徒に緊張感を与えるとともに、道路利用者の交通安全意識が新たに高められる活動となりました。

